学校開放と西中美術館Ⅱ

今日も昨日に引き続き、学校開放日でした。今日は偶数クラスの参観日でした。本日は85名の 方が参観されました。子ども達は、参観に慣れてきたせいか、昨日に比べ、比較的集中して授業を 受けていました。人が通っても、チラチラ見る生徒はほとんどいませんでした。

今回の学校開放の目的は、コロナ禍で中止となっていた授業参観を実施することでした。ですから対象者は、保護者、学校運営協議会委員さんでした。しかし、授業参観をすることで、子ども達にも良い緊張が与えられたことは良かったと思います。『人に見られる』ことによって、「きちんとしなければ」「良いところを見せたい」などという気持ちが生まれます。日頃が悪いというわけではありませんが、人に見られること、それによって生まれる緊張によって、日頃を振り返る1つの手段になりました。

これから先も感染状況は予断を許さない状況が続きますが、学校はできる限り、参観をしていきたいと思います。

☆太西星☆の力作が揃っています!

今日も太宰府西中美術館より、秀作の数々を紹介します。子ども達の作品は見れば見るほど、とても良くできたものばかりです。時間がいくらあっても足りないくらいです。このHPでも、できる限り、紹介したいと思います。

☆ 上履きデッサン(1年)

上靴を上手に描いています。リアルな雰囲気が伝わってきます。そしてこれを描いたのが、1年生というのも驚きです。これからどのように成長していくのか、今後も楽しみです。



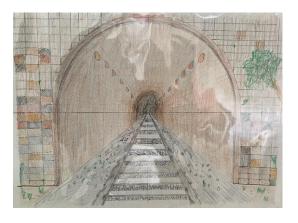




☆ 透視図法

一点透視、二点透視、空気遠近法などを活用して、奥行きのある絵を描きます。 左と右では、図法が違いますが、どちらも立体感のある絵に仕上がっています。素晴らしいです。

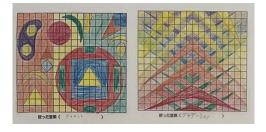




☆ 平面構成

構成美の要素を使って、形や配色を工夫して、美しく構成しています。





☆ フルーツをスケッチ



☆ モダンテクニック



☆ 1年生国語『詩の世界』

表現の仕方として、「比喩」「短く繊細な言葉を使う」「空想の世界を表現する」などを 用いて、自由に詩を書きました。そして、詩に合う絵も描いています。どれも素晴らしい 詩です。発想が豊かであったり、自然をしっかりと見つめた詩であったり、とても趣のあ る詩であったりしています。大人とはまた違った感性に、心がくすぐられます。

たくさんの力作があります。今回と次回に分けて紹介します。太西1年星☆ワールドを お楽しみください。

